



## 元気に帰ってきてね！

### ウミガメを放流

9月12日(月)、横瀬海岸において、大丸小学校の4年生とその保護者が参加し、ウミガメ放流観察会がおこなわれました。

大丸小学校の校内にはウミガメ用の<sup>ふか</sup>孵化場が設置されており、毎年ウミガメの観察と放流をおこなっています。

参加した芝原<sup>せな</sup>世直さんは、大崎町の海をきれいにしたいと毎月お家の方と一緒に海岸のごみ拾いをしており、放流について「無事に大きくなって、赤ちゃんを産みに大崎の海に帰ってきてほしい」と話してくれました。

孵化した19匹のウミガメは波に押し戻されたり、ひっくり返ったりしましたが、参加者の「がんばれ!!」という声援や見守りの中で大海原に旅立っていきました。



### ドッジボール大会で児童が大奮闘！

町総合体育館において、一般財団法人日本ドッジボール協会主催による「松和物産杯 第9回九州ブロック親善ドッジボール大会」が開催され、九州各地から23チームが参加しました。

大会は9月23日(金)にフレンドリーグ、翌日にファイターリーグがおこなわれ、大崎町からは大丸小学校の5年生1チーム、6年生1チームがフレンドリーグに出場しました。

白熱した試合が展開され、会場は盛り上がりました。



### 児童が描いた絵に光が灯されました

8月21日(日)から1週間、大丸小学校の渡り廊下に灯ろうが飾られ、19時から21時までライトアップされました。

これは、大丸公民分館主催の夏祭りが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり「地域を盛り上げたい、子どもたちが楽しめる活動をしたい」と分館役員や同校PTA役員が計画したものです。

児童が夏休み期間中に描いた絵を木枠に貼り付け、渡り廊下に設置し、光を灯しました。家族で写真を撮る姿や地域の方が立ち寄る姿が見られました。